

# Rally Hokkaido (ラリー北海道) レポート

APRC (アジアパフィシックラリー選手権) / 第5戦

JRC (全日本ラリー選手権) / 第7戦

JRC 最高峰の JN6 クラスで ADVAN-PIAA ランサー(奴田原、佐藤組)が今季 4 勝目を獲得!

注目の JN5 クラスでは TEIN ADVAN スバル BRZ(鎌田、市野組)が今季 4 勝目でタイトル奪取!

APRC では HASE・PRO レーシング(長谷川、鈴木組)が総合 16 位(アジアカップ4位)で完走を果たす!



JRC 総合優勝 ADVAN-PIAA ランサー

## ■概要/Outline

WRC(世界ラリー選手権)で活躍する PIAA は JRC(全日本ラリー選手権)でも活躍。

9月26日~28日、北海道帯広市を中心に十勝地方を舞台に開催されたシリーズ第7戦のラリー北海道でも数多くの PIAA ユーザーが各クラスでトップ争いを展開していた。

なかでも、抜群の走りを披露していたのが、ADVAN-PIAA ラリーチームで三菱ランサーを駆る奴田原文雄選手で最高峰クラスの JN6 クラスで今季 4 勝目を獲得。タイトル争いに王手をかけている。

一方、JN5 クラスでは TEIN ADVAN スバル BRZ を駆る鎌田卓麻選手が圧倒的な強さで今季 4 勝目を獲得し、最終戦を待たずしてタイトルを獲得。さらに ARTA オートボックスラリーチームでトヨタ・ヴィッツを駆る石川昌平選手が JN3 クラスで 2 位を獲得した。

そのほか、シリーズ第5戦として同時開催で争われた APRC(アジア・パフィシック・ラリー選手権)に目を向けるとハセプロレーシングで三菱ランサーを駆るハセ・プロの長谷川智秀選手が総合 16 位、APRC 登録では 7 位で完走するなど PIAA ユーザーが国内唯一の国際ラリーで活躍した。

## ■ラリーレポート／Rally Report

2002年に国際格式ラリーとして開催され、2004年にはWRCの「ラリージャパン」として開催。2005年からはAPRCおよびJRCの1戦として開催されているラリー北海道が2014年も北海道帯広市を舞台に開催された。オープニングステージは26日、札内川沿いに設けられたナイトステージの「SSS サツナイリバー1」で、PIAAユーザーが本領を発揮。奴田原選手がJN6クラスでベストタイムを叩き出すほか、鎌田選手もJN5クラスでSSウインを獲得する。

さらに翌27日、山岳グラベルで本格的なラリーがスタートしてからもPIAAユーザーは抜群のパフォーマンスを披露。「ヤムワッカでバーストした」と語るように奴田原選手はSS8でタイヤを破損し、約40秒のタイムロス強いられるものの、SS2、SS3、SS6、SS7、SS9、SS10とSSウインを獲得するほか、SS11のナイトステージ「SSS サツナイリバー2」でこの日5本目のベストタイムを叩き出し、後続に約1分46秒の差をつけてレグ1をトップでフィニッシュした。



セレモニアルスタート



SSS サツナイリバーのナイトセッション

結局、奴田原選手は翌28日のレグ2でもコンスタントな走りで首位をキープ。「レグ1のパンク以外は戦略どおりだったので充実感がある。タイトル争いに余裕ができたけれど、残り2戦はターマックなので気を引き締めていきたい」と語るように奴田原選手は今季4勝目を獲得し、タイトル争いに王手をかけた。

一方、奴田原選手と同様にオープニングステージを制したJN5クラスの鎌田選手もレグ1で快進撃を見せている。「SS8はフィニッシュ付近でバースト。SS9は前走車のダストが酷くてペースを落とした」と語るようにSS8、SS9こそSSウインを譲るものの、SS11のナイトステージ「SSS サツナイリバー2」を含めて計8本のSSでベストタイムをマークし、後続に58秒の差をつけてレグ1をクラストップでフィニッシュする。

その勢いは翌28日のレグ2も健在で「勝てばチャンピオンなので勝ってタイトルを決めたい」と語るように鎌田選手は5本中4本のSSでベストタイムをマークし、最後まで首位を堅守。今季4勝目を獲得し、JN5クラスのチャンピオンに輝いた。



JN5 チャンピオン獲得 BRZ 鎌田、市野組



SSS サツナイリバーのナイトセッション

そのほかにも、ラリー北海道では数多くのPIAAユーザーが活躍しており、モンスタースポーツでトヨタ86を駆る天才・粟津原豊選手がJRCのJN5クラスでクラス4位に入賞。さらにARTAオートボックスラリーチームでトヨタ86を駆る増川智選手がJN5クラスで5位に着けるほか、同チームでトヨタ・ヴィッツを駆る石川選手がJN3クラスで2位入賞を果たし、表彰台を獲得している。



ベストカーwith モンスタースポーツ86(粟津原、安東組)



SSS サツナイリバーのナイトセッション



ARTA オートボックス86(増川、山岸組)



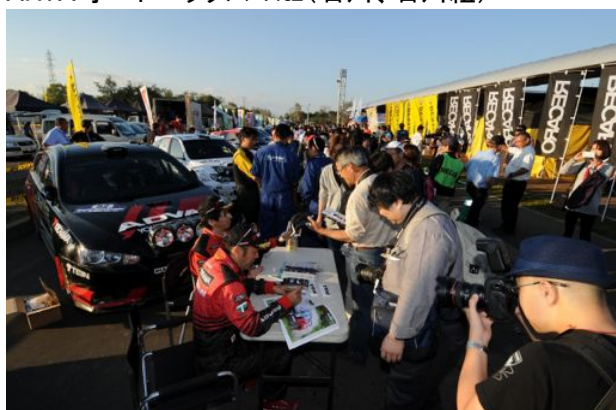
SSS サツナイリバーのナイトセッション



ARTA オートボックス Vitz(石川、石川組)



LEG2は場所により雨が降ったため広間でもライトオン



北愛国ラリーパークではラリーショー開催、間近にラリーカーを見られて選手たちにも合える！



一方、APRC においてはハセプロレーシングの長谷川選手がトラブルにも耐えながら終始安定した走りを披露しており、総合 16 位、APRC 登録ドライバーとしては 7 位で完走。(アジアカップ 4 位) このようにナイトステージを有するラリー北海道を舞台に PIAA ユーザーが活躍することによって、PIAA のライティングシステムのパフォーマンスを改めて証明した。



APRC のポディウム ハセ・プロレーシング



ナイトセッションのハセ・プロランサー

#### ■PIAA ユーザーのコメント/Voice of PIAA Drivers

ラリー北海道/JN6 クラス・ウィナー

奴田原文雄/Fumio Nutahara

マシン: 三菱ランサーエボリューション X

「PIAA のランプはずっと使っているんですけど、本当に明るいですよ。それにラリー競技では全体的に明るくないと使いにくいんですけど、PIAA のシステムは配光もいいのでとても満足しています。実際、IRC で他社のランプを使ったことがあるんですけど、やっぱり PIAA のランプは良いと思います。あと開発のレスポンスも良くて、エンジニアがしっかりドライバーの意見をフィードバックしてくれるところもポイントですね。こういった姿勢が一般の市販製品にも活かされていると思いますよ」



ADVAN-PIAA ランサーと奴田原選手

ラリー北海道／JN5 クラス・ウイナー

鎌田卓麻／Takuma Kamada

マシン：スバル BRZ

「今年から PIAA のランプを使っているんですけど、すごくいいですね。明るいし、前方向だけでなく、照射範囲も広いので、“点”ではなく“面”でカバーしている印象です。光の色も他社ランプと比べてもナチュラルで見やすい。ドライバーにとっては目に見える情報が一番大切なんですけど、今回のナイトステージでは PIAA のランプシステムがアドバンテージになりました。実際、サツナイリバーは意外とハイスピードなんですけど安心して走れました。ラリーではオールマイティなクルマが求められるけれど、PIAA のランプも総合力が高いと思います」



TEIN ADVAN SUBARU BRZ と鎌田選手

## ■ギャラリー／Rally Gallery

TEIN ADVAN スバル BRZ



ADVAN-PIAA ランサー



ベストカーwith モンスタースポーツ 86



ARTA オートボックス 86



86 専用ランプポッド by タクミクラフト

## ARTA オートバックス Vitz



Vitz 専用のランプポッド by タクミクラフト



## HASE-PRO ランサー (APRC)



See you next Rally Hokkaido!